

いわきあぶらがや

Scirpus Hattorianus Makino

福島県の水湿地に稀に産する大形の多年生草本である。茎は高さ1m以上に及び、太く3稜形をなし、多くの葉をつける。茎葉は長さ20-30cm巾8-12mm、縁と下面中肋はざらつき、鞘部は長さ4-5cm平滑である。7-8月、茎頂に2-3枚の細そく長い苞葉をつけ、長短不同の枝を分って、小さい穂が径5-10mm許の球状に多数集って着く。小穂は柄なく、卵形で長さ2-3mm、灰緑黒色をおび、多くの花からなる。穎は卵形で長さ約1.5mm、先は尖り小突起があり背部は灰緑色をおびる。花柱は3中裂、瘦果はほぼ3稜形で長さ約0.8mm、基に4-5本の細い果より短い子房下鬚がある。和名は本種が磐城国で発見されたのによる。

みねほりい

Scirpus caespitosus L.

本州北中部以北の高山や北半球亜寒帯の水湿地に生ずる多年生草本である。根茎は短く斜上分枝し、枯れた葉で密におおわれ、茎は多数簇生し高さ5-30cm、円く縦に糸がありほぼ平滑、基部は鞘状葉に包まれている。葉は基部のものは披針形でかたく、淡黄褐色で光沢があり、最上部のものは円筒状で先に長さ3-5mmの針状片がある。7-8月、茎頂に1個の小さい穂をつけ、苞葉は無い。穂は披針状卵形で長さ3-5mm、栗褐色で2-5花からなる。穎は下の2片は広卵形で先は長い突起となり長さ3-4mm、他は卵形でやや小さく鈍頭である。瘦果は倒卵形で3稜があり、長さ約1.5mm、基には6本の果より長いほぼ平滑な子房下鬚があり、花柱は3裂する。

ひめわたすげ

Scirpus hudsonianus Fernald
(= *Eriophorum alpinum L.*)

本州八甲田山以北の北半球寒地の湿地に稀に生ずる多年生草本。根茎は短く横にはい、茎は密にならんで立ち、高さ10-30cmで、やや3稜形をなし、角はざらつき、基は数枚の鞘状葉で包まれている。鞘状葉は褐色をおび、下部のものは短く円筒形で葉身なく、上方のものは長さ5-10mmの針状片をつける。6-7月、茎頂に1個の卵状披針形赤褐色の穂をつけ、穂は長さ5-7mmで基に苞は無く、5-10花からなる。穎は長楕円形で長さ4-5mmあり、最下のものは先に長い突起がある。瘦果は長倒卵形で長さ1.3mm許、やや平たい3稜形をなし、花柱は3中裂し、基には6本の長さ2cmに及ぶ平滑な白い子房下鬚がある。ワタスゲに似ているが、各部共小形で果の基の白毛は6本だけである。

たかねくろすげ

Scirpus Maximowiczii C. B. Clarke
(= *Eriophorum japonicum Maxim.*)

本州北中部、北海道、樺太、朝鮮などの高山水湿地に生ずる多年生草本である。根茎は大きく短く匍い枯葉に包まれ、多くの葉を簇生する。葉は線状披針形で巾3-6mm、やや堅く縁はざらつく。茎は高さ12-40cmで、3稜があり、茎葉は長い鞘部をもち、その上部は黒褐色をおび、先に長さ2-7cmの葉片をつける。7-8月、茎頂に1-2枚の短い黒い苞葉をつけ、細い枝を分って各々1-5個の穂をつける。穂は長楕円形で長さ7-12mm、灰黒色で多くの花からなる。穎は長楕円形で長さ3-4mm、膜質で薄い。花柱は長さ4-5mm、3裂する。瘦果は倒卵形で長さ約1.3mm、基には長さ5-6mmの白っぽい6本の子房下鬚がある。

ひめほたるい

Scirpus lineolatus Franch. et Sav.

北海道から台湾に及ぶ水湿地に生ずる多年生草本で、根茎は細長く横走する。茎はやや疎に並んで立ち、高さ10-30cm、円く径1-2mm、基部は1-2の茶褐色をおびた鞘状葉に包まれている。苞は長さ1-4cmで円く、茎の先に連なり、夏秋、1個の穂が一見側方に出る。穂は長楕円形で先はやや尖り、長さ7-10mm径約3mm、多くの花からなる。穎は長楕円形で尖り黄褐色をおび、長さ4mm許、多くの脈がある。花柱は長さ4-5mm、先は2裂する。果は倒卵形で先に小突起があり、長さ1.5-2mm、黒っぽく光沢があり、基にある子房下鬚は4-5本で果のほぼ倍の長さがあり、赤褐色で逆向小刺がありざらついている。雄蕊は2-3本、葯は線形で長さ2.5mm。

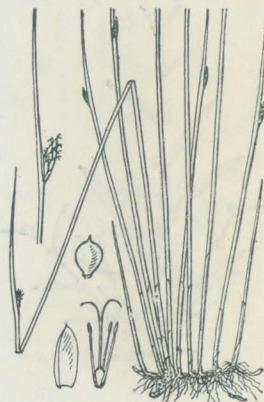
しずい

Scirpus nipponicus Makino

水湿地にやや稀に生ずる多年生草本で、長い匍枝を出す。茎は高さ40-60cmになり3稜形で下部に長い葉をつける。下部の葉は茎より長く、3稜形で巾2-3mm、下部は鞘となって茎を包む。苞は長さ10-20cmあり、茎頂に連っているため、花序は側方からでる様に見える。花序は基に1-2の短い苞があり、6-8月少し枝を分って3-8個の穂をつける。穂は長楕円形で先はやや尖り、茶褐色、長さ8-15mm巾4-6mm、多くの花をつける。穎は長楕円形凸頭で長さ4-5mm、背面中肋は緑色をおびる。花柱は長さ6-8mm、2裂する。瘦果は倒卵形で長さ約2mm、暗褐色をおび、基に果のほぼ倍の長さがあるざらついた褐色の4本の子房下鬚を有する。



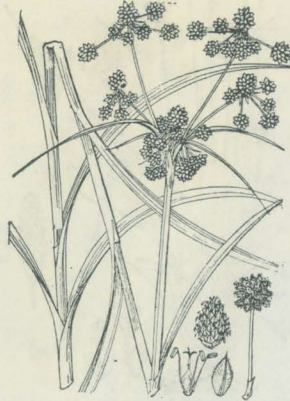
第 3813 図



第 3814 図

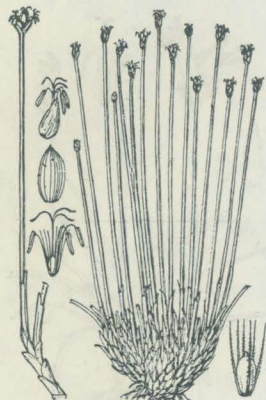


かやつりぐさ科



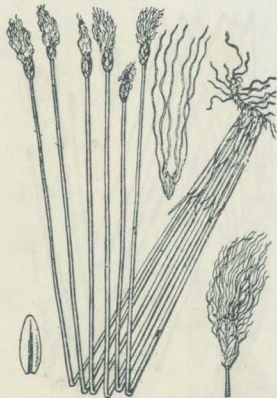
第 3810 図

かやつりぐさ科



第 3811 図

かやつりぐさ科



かやつりぐさ科

かやつりぐさ科

かやつりぐさ科